

D-1トレンチの拡張

2015年11月の申請に向けて、
K断層の分布範囲、D-1 破碎帯を確認するため、
ふげん道路ピットを拡張
(原電道路ピット西向き法面と一体化)

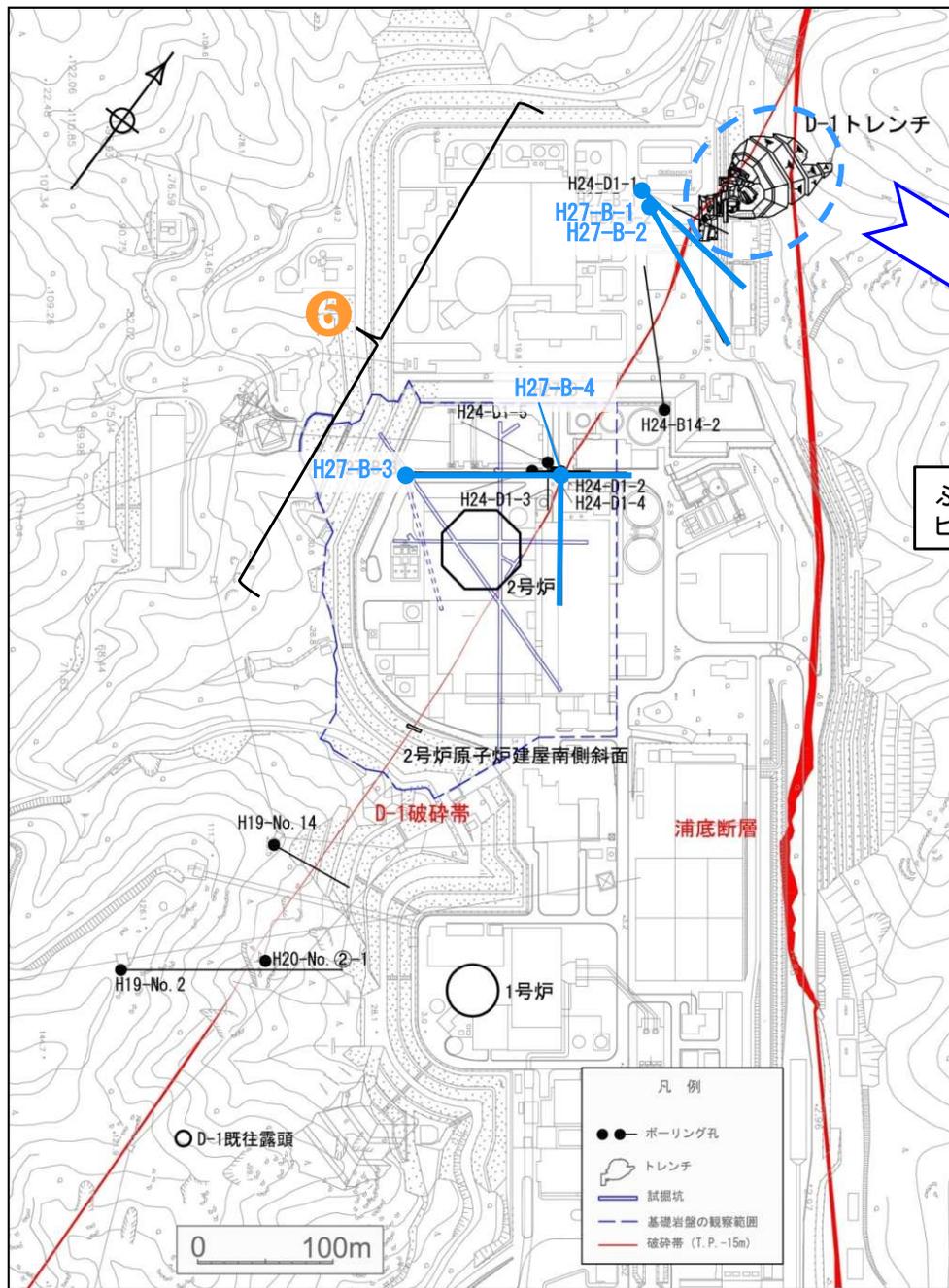
K断層の分布区間
(北西法面～ふげん道路ピット)

ピットを拡張

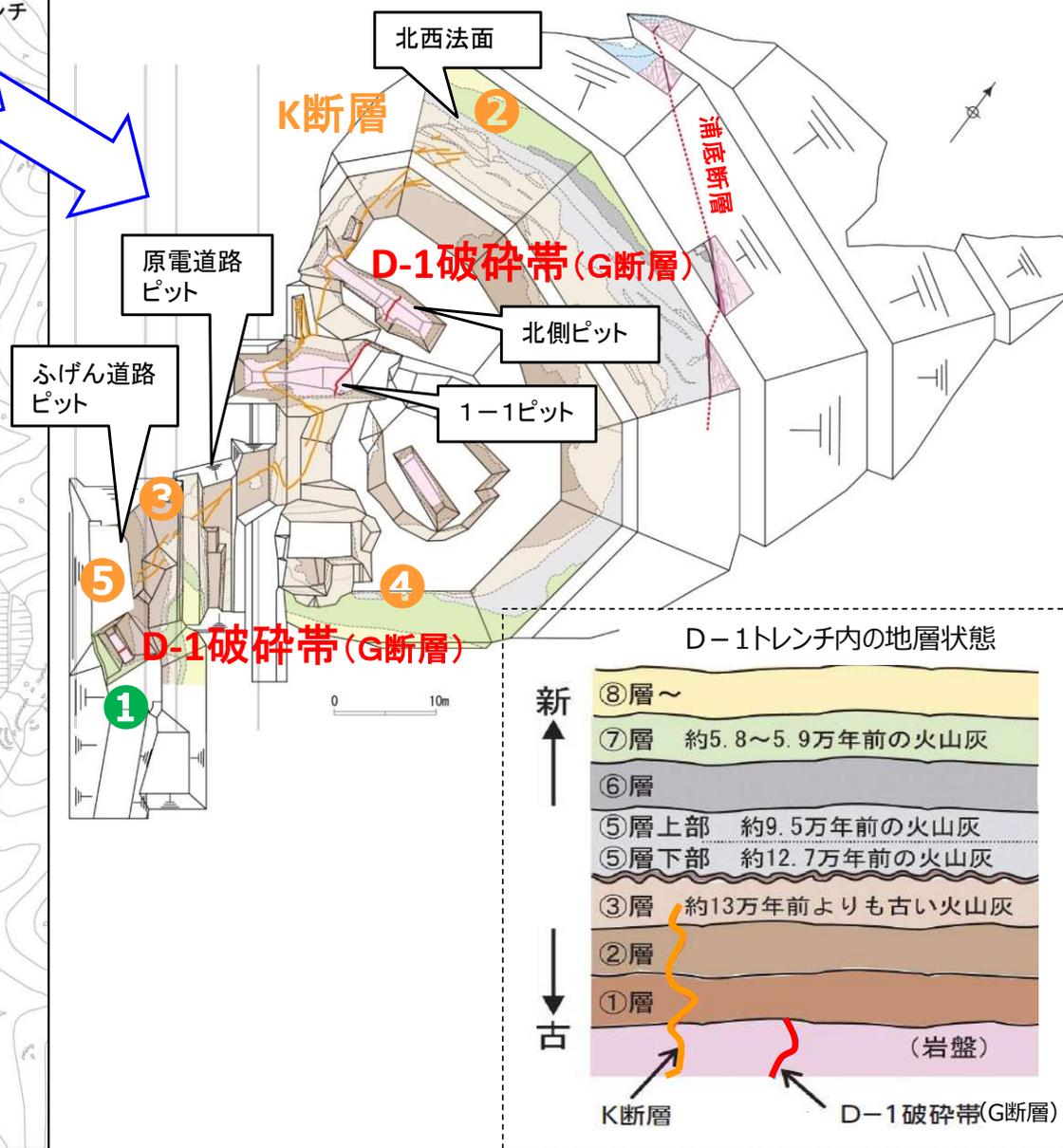


島状頂盤部





D-1トレンチ



<これまでの評価>

D-1破砕帯(G断層)

<活動性> 活断層等ではない。

・D-1トレンチ北側ピット及び1-1ピットにおいて、13万年前より古い地層(①層及び②層)に変位・変形を与えていないことを確認。

K断層

<活動性> 活断層等ではない。

・北西法面、原電道路ピットにおいて、13万年前より古い地層(③層)に覆われていることを確認。

<連続性> K断層は2号機原子炉建屋の方向に延びておらず、D-1破砕帯(G断層)と一連ではない。

・原電道路ピット付近でK断層がほぼ消滅していることを確認。
・ボーリング調査(計6本)の結果から、2号機側にはK断層と同じずれの破砕帯は一切ないことを確認。また、D-1破砕帯(G断層)は、K断層とずれの向きなどの性状が異なることを確認。

<データ拡充に基づく評価>

D-1破砕帯(G断層)

<活動性> 新たにピット調査等を実施し、活断層等でないことが更に補強された。

・D-1トレンチ北側ピット及び1-1ピットに加え、ふげん道路ピットにおいても、13万年前より古い地層(①層)に変位・変形を与えていないことを確認。①

K断層

<活動性> 新たに複数個所でピット調査等を実施し、活断層等でないことが更に補強された。

・北西法面の追加調査(掘り込みによる追加観察、CTによる堆積状況の詳細観察)により、K断層が13万年前よりも古い地層(③層)に覆われていることを、より明確に確認。②

・原電道路ピット、ふげん道路ピットのデータ拡充(地層の連続性調査、地層の変位・変形に関するデータ拡充)により、K断層が13万年前よりも古い地層(③層)に覆われていることを、より明確に確認。③④

<連続性> 新たに複数個所でボーリング調査やピット調査等を実施し、K断層は2号機原子炉建屋方向に延びておらず、D-1破砕帯(G断層)を含め原子炉建屋直下のすべての破砕帯とも一連ではないことが更に補強された。

・ふげん道路ピット中央付近より2号機側では、K断層は確認されない。⑤

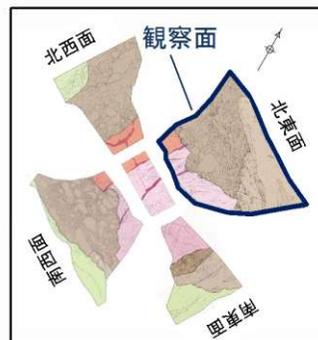
・追加ボーリング調査(今回4本追加)の結果から、2号機側にはK断層[逆断層]と同じずれの破砕帯は一切ないことを、より明確に確認。また、D-1破砕帯(G断層)[正断層]を含め原子炉建屋直下のすべての破砕帯は、K断層とずれの向きなどの性状が異なることを、より明確に確認。⑥

※本頁では「将来活動する可能性のある断層等」を「活断層等」と記載している。

【参考】D-1破砕帯に関する評価(3/6)

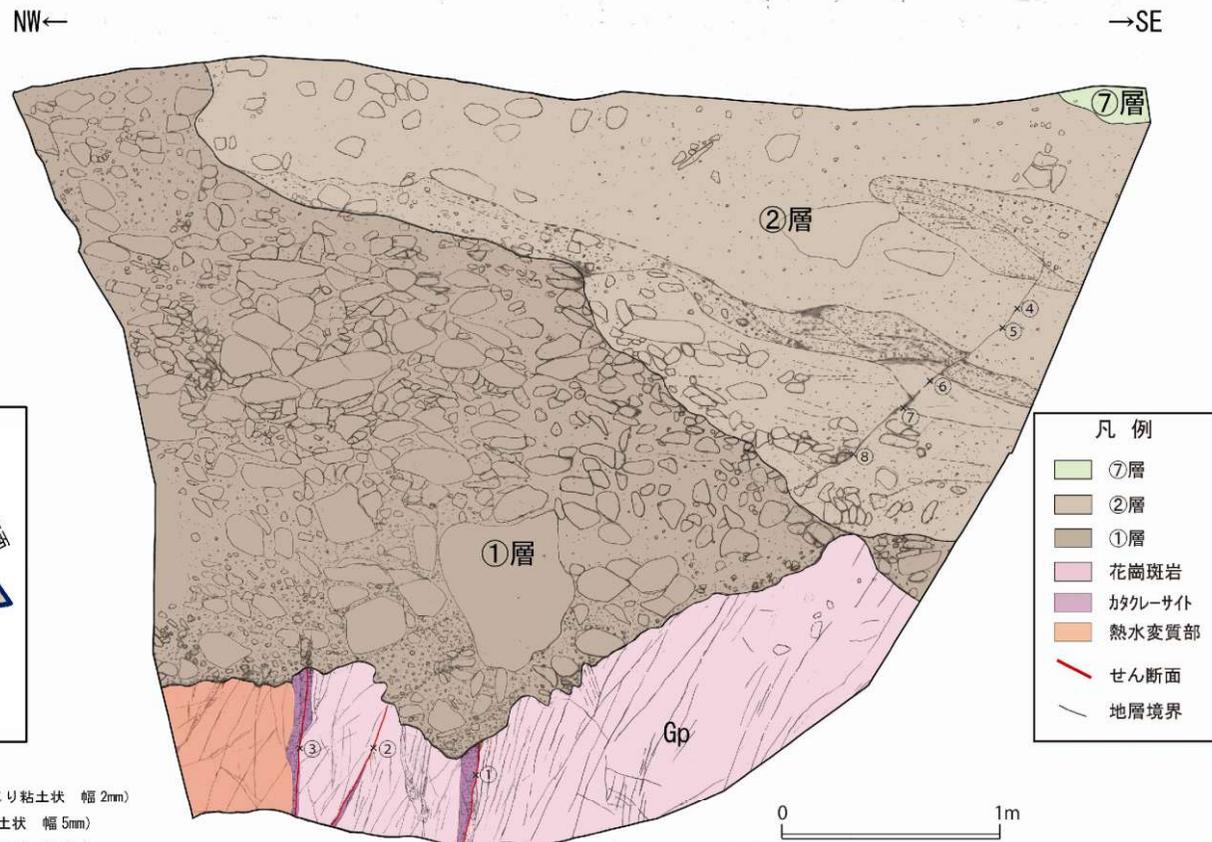


調査位置図



ピット内調査位置図

- ①: f: N33° E82° W 断層ガウジ (にぶい黄褐色砂混じり粘土状 幅 2mm)
 - ②: f: N18° E87° W 断層ガウジ (明赤灰色砂混じり粘土状 幅 5mm)
 - ③: f: N18° E62° W 断層ガウジ (明黄褐色砂混じり粘土状 幅 5mm)
 - ④: f: N63° E74° W
 - ⑤: f: N42° E62° W
 - ⑥: f: N50° E62° W
 - ⑦: f: N35° E62° W
 - ⑧: f: N63° E74° N
- f: せん断面
※走向は偏角未補正である。



- 凡例
- ⑦層
 - ②層
 - ①層
 - 花崗斑岩
 - カタクレサイト
 - 熱水変質部
 - せん断面
 - 地層境界

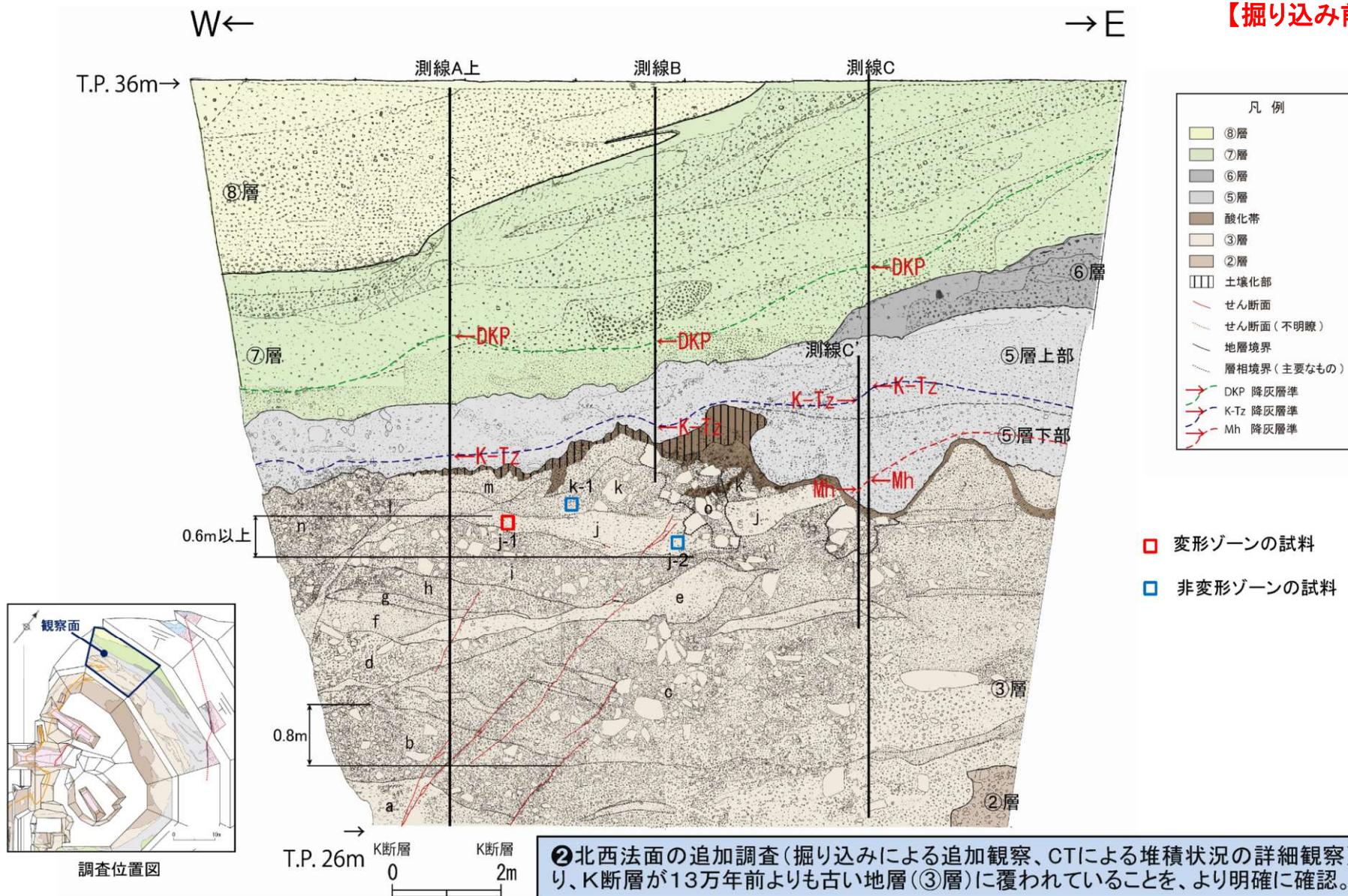
- ⑦層: 礫混じり砂質シルト。褐(7/5YR4/3)。シルトを主体とし、全体に細砂～径10cmの礫が混じる。全体に風化が進み土壌化を受ける。
 - ②層: 礫・シルト混じり砂～砂質シルト。灰白～灰黄色(2.5Y7/1～2.5Y7/2)。細砂～粗砂からなり、径40cmのGp礫が混じる。くさり礫が混じる。
: 砂質シルト。灰白色(2.5Y7/1)。シルトを主体とし、細砂が混じる。よく締まっている。
 - ①層: 砂礫。にぶい赤褐色(5YR4/3～2.5Y7/1)。礫は径50cm以下の垂角礫を主体とする。礫率30～60%。淘汰は悪い。基質は粗～中粒砂で固く締まっている。
本層は、せん断を受けておらず、基盤中の破砕帯と断層関係にはない。
- Gp: 花崗斑岩。にぶい赤褐～灰白色(5YR4/3～2.5Y7/1)。全体に風化を受け、一部土砂状を呈す。また、断層周辺部では、カタクレサイトが分布し、礫・シルト質状を呈す。

① D-1トレンチ北側ピット及び1-1ピットに加え、ふげん道路ピットにおいても、13万年前より古い地層(①層)に変位・変形を与えていないことを確認。

第7.4.4.44図(1) D-1破砕帯 ピット調査結果(ふげん道路ピット) (その1)
6-7-4-789

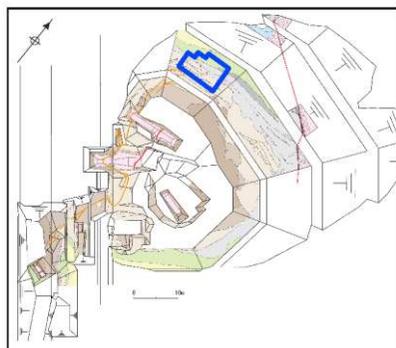
【参考】D-1破砕帯に関する評価(4/6)

【掘り込み前】

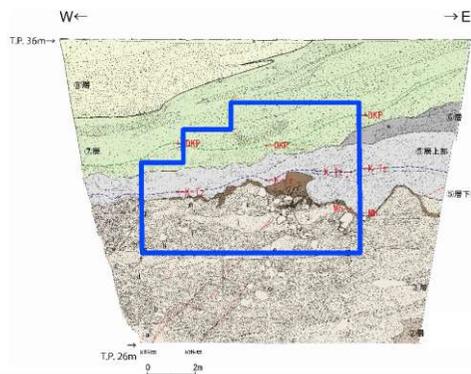


第7.4.4.64図(1) K断層 地層の堆積状況(CT画像)(D-1トレンチ北西法面)(その1)

【参考】D-1破砕帯に関する評価(5/6)



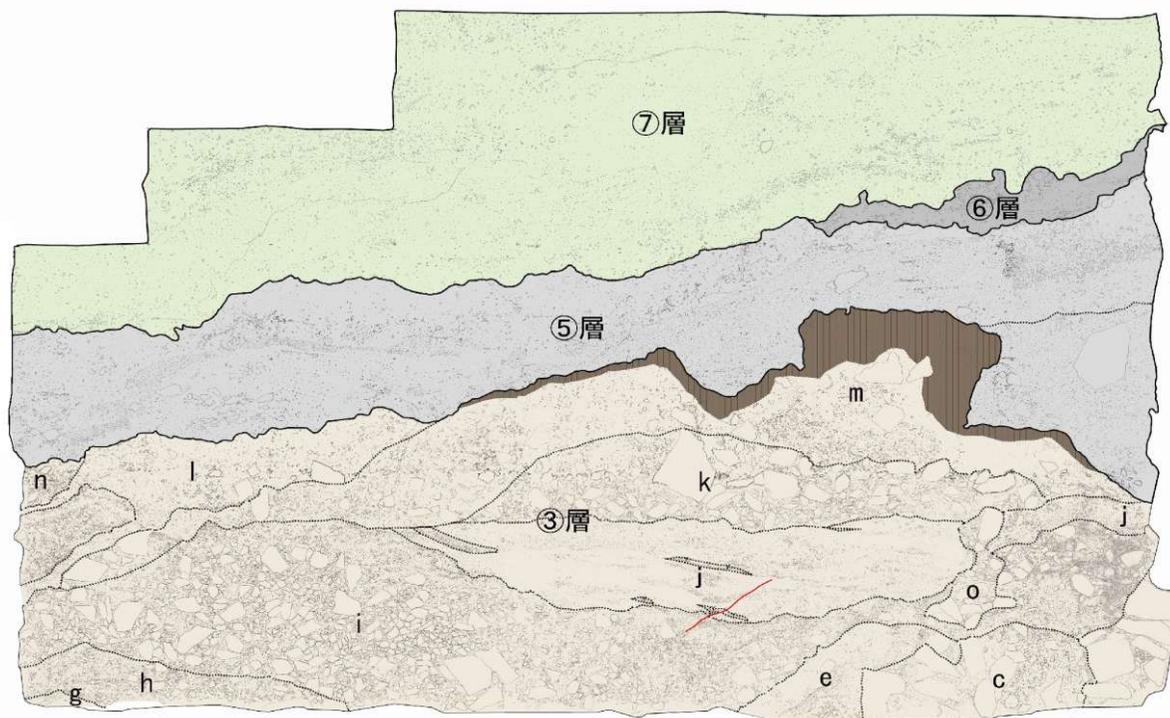
調査位置図



【掘り込み後】

SW←

→NE



凡例

⑦層	せん断面
⑥層	地層境界
⑤層	
土壌化部	
③層	

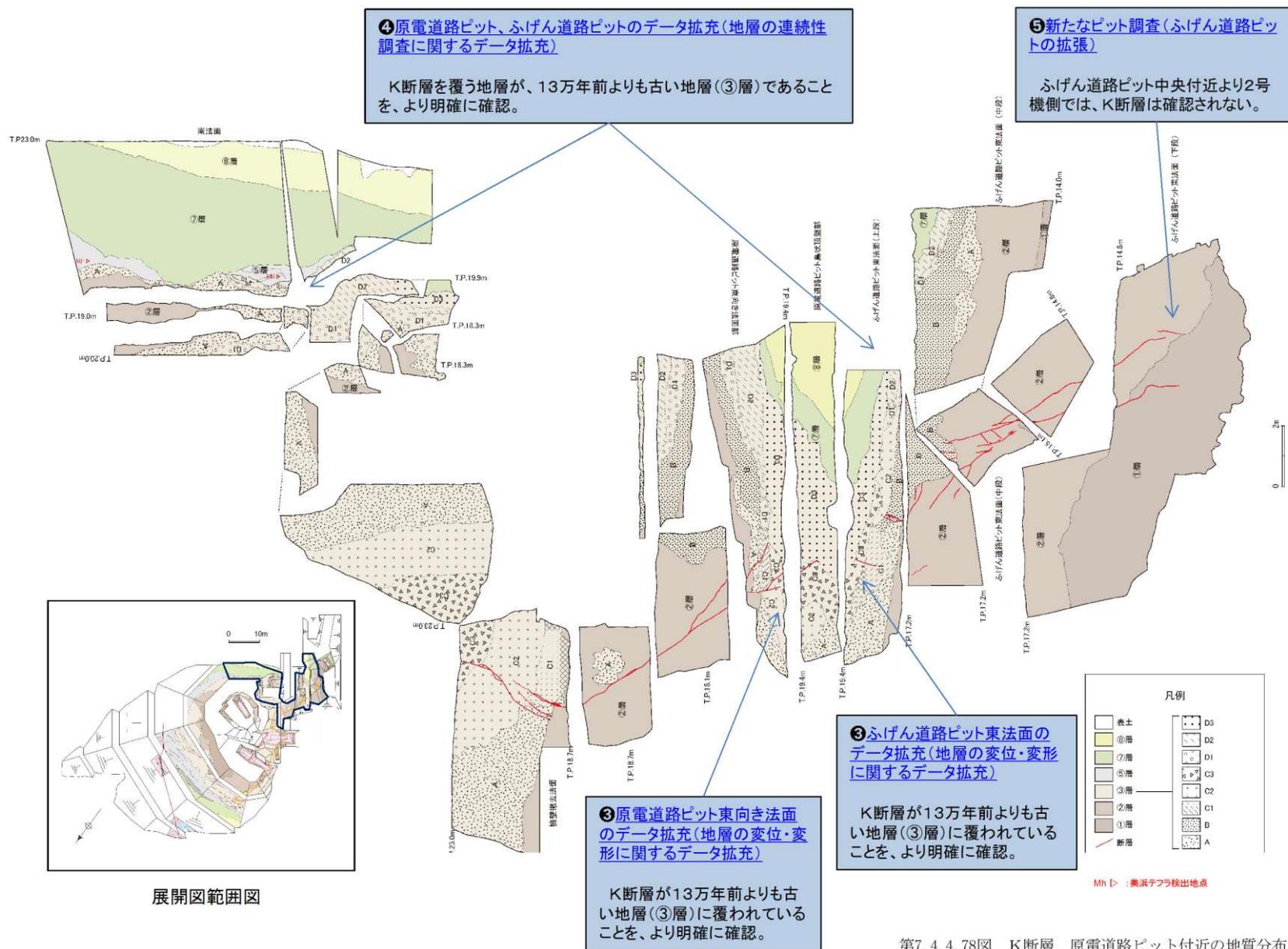
- ⑦層：礫混じりシルト質砂～礫混じり砂質シルト（砂礫を伴う）橙色（7.5YR6/6）～明黄褐色（10YR6/6）、灰色（10Y6/1）。
- ⑥層：腐植質砂質シルト～シルト質砂（一部に砂礫を伴う）木片を多数含む。
- ⑤層：砂礫主体（礫混じりシルト質砂～礫混じり砂質シルト層を伴う）大局的には上方細粒化の傾向を示す。黄灰色（2.5Y6/1）～明オリブ灰色（2.5GY7/1）。
- ③層：砂礫
主に20cm以下（まれに50cm大）の角～亜角礫を含む。礫種は花崗斑岩、花崗岩。淘汰はきわめて悪い。基質は細～粗粒砂。締まりは良好。一部レンズ状に砂層を挟む。にぶい橙色（7.5YR7/3）～橙色（7.5YR6/6）。K断層近辺の砂礫層は撓曲を示す。

②北西法面の追加調査（掘り込みによる追加観察、CTによる堆積状況の詳細観察）により、K断層が13万年前よりも古い地層（③層）に覆われていることを、より明確に確認。

第7.4.4.65図 K断層 トレンチ調査結果（D-1トレンチ北西法面）法面掘り込みスケッチ



【参考】D-1破砕帯に関する評価(6/6)



第7.4.4.78図 K断層 原電道路ピット付近の地質分布